

10 月 18 日 (日) に行われた平成 27 年秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データをもとに、IT ストラテジスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

■IT ストラテジスト試験試験 (ST)

[平成 27 年秋期の IT ストラテジスト試験 統計情報]

| | |
|-----|---------|
| 応募者 | 6,663 人 |
| 受験者 | 4,487 人 |
| 合格者 | 656 人 |
| 合格率 | 14.6% |

平成 27 年秋期の IT ストラテジスト試験の合格率は 14.6% で前回の 15.0% に対して微減でした。まず、午前 I と午前 II 試験の分析結果をお知らせします。

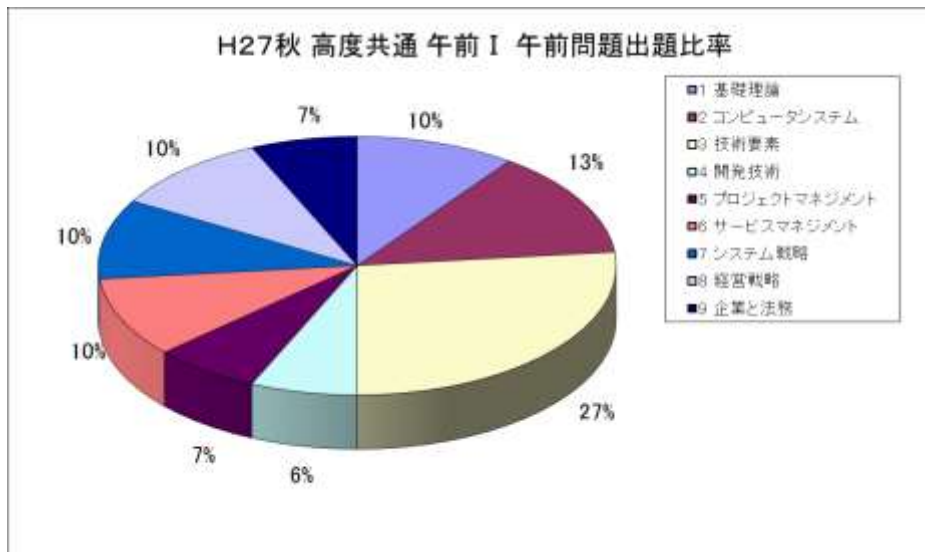
(午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

- ・高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれています。これまで、AP の問題の中でも比較的素直で常識的な問題が選ばれていましたが、基礎理論の計算問題が少し難しかったといえます。
- ・過去問題の比率は約 6 割で従来どおりの比率といえます。また、新傾向問題は前回より少ない 4 問の出題数でした。
- ・分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類からまんべんなく出題されていますが、重要な内容 (中分類) からは複数出題されています。前々回からセキュリティ分野を重視した出題に変わりましたが、出題数は前回と同じ 4 問でした。
- ・新傾向問題は次の 4 問でしたが、少し詳しい知識が要求される問題でした。

(新傾向問題)

- 問 9 デジタルハイビジョン対応の映像圧縮符号化方式
- 問 25 環境省の環境表示ガイドライン
- 問 26 M&A による垂直統合
- 問 30 サイバーセキュリティ基本法の対象

平成 27 年秋期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



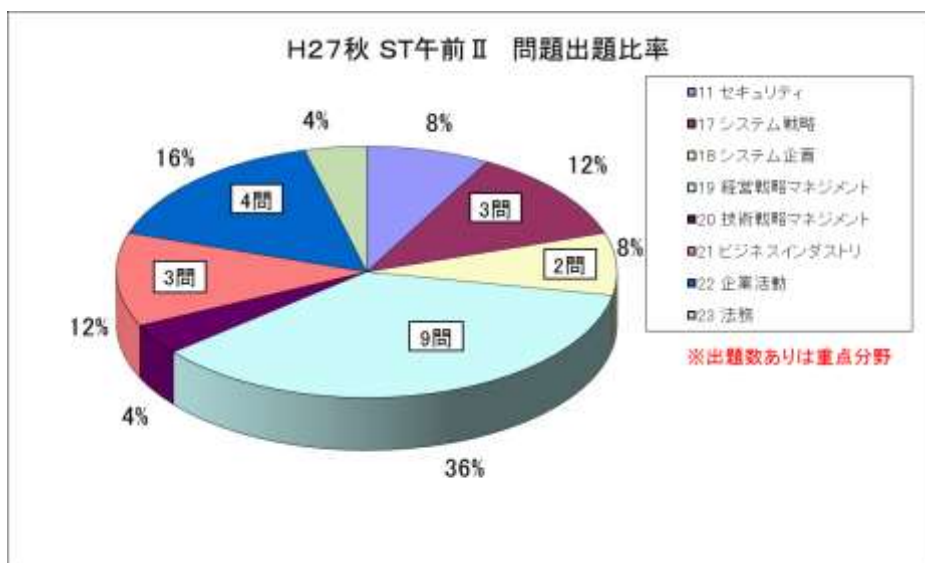
(午前 II 試験 (専門知識問題))

午前 II 試験は前回からセキュリティも出題範囲に含まれることになりました。IT ストラテジスト試験の重点出題分野はシステム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動の 5 分野ですが、実際には経営戦略マネジメントが 9 問と最も多く、他の重点分野の 2~4 問と大きく出題数が異なっています。

新傾向問題としては、次の問題がありました。

- 問 1 IT 投資マネジメント
- 問 12 顧客生涯価値の見積り留意点
- 問 16 ebXML の説明
- 問 17 インプレッション保証型広告

平成 27 年秋期の IT ストラテジスト試験 午前 II 問題出題比率



次に、午後 I と午後 II 試験の分析結果をお知らせします。

〔午後問題〕

・午後Ⅰ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。4問とも記述量が200字以上あり解答字数が増えました。事例は様々な業種に渡っていますが、詳しい業務知識がなくても解答できる内容になっています。

問1 建設業におけるグローバルな環境での業務遂行体制の確立 やや易～普通

グローバルシステムの導入・狙い・開発の前提、セキュリティ対策、海外子会社提供機能

問2 食品メーカーの業務改善 普通

物流業務の改善、輸送業者の選定と顧客要望、営業業務の改善効果、他社製品の取扱い

問3 地方公共団体におけるIT管理 普通

費用算定ルール、運用費用の高額化対策、費用の検討、事後評価、OSS費用の低減策

問4 産業機械メーカーの製品企画 やや易～普通

新製品の企画・設計・開発理由、法規制と許認可、ブランド戦略、パワードスーツ使用制限

・午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは次のとおりです。問1の“グローバルな事業”についてやや書きづらかった面がありますが、他はオーソドックスな出題内容でした。

問1 ITを活用したグローバルな事業について

改革すべき業務機能、組織と新業務、新システム全体イメージ、経営者の評価、改善余地

問2 緊急性が高いシステム化要求に対応する優先順位・スケジュールの策定について

システム化要求の背景・特性、検討の優先順位・スケジュール、事業部門の評価、改善事項

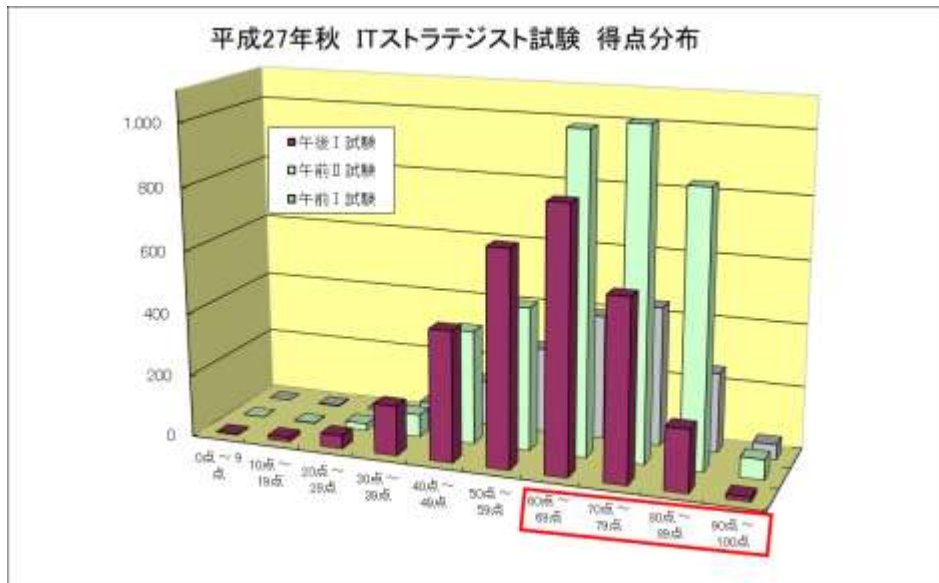
問3 多様な顧客要求に応えられる組込みシステムの製品企画について

企画の経緯、市場調査、技術動向、課題、提案施策、企画内容・立案根拠、妥当性と評価

〔平成27年秋 ITストラテジスト試験 スコア分布〕

| 得点 | 午前Ⅰ試験 | 午前Ⅱ試験 | 午後Ⅰ試験 | 午後Ⅱ試験 | 合格者 |
|------------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 0点～9点 | 0 | 1 | 3 | D 210 | |
| 10点～19点 | 3 | 2 | 14 | | |
| 20点～29点 | 12 | 21 | 43 | C 182 | |
| 30点～39点 | 50 | 73 | 160 | | |
| 40点～49点 | 144 | 364 | 417 | B 561 | |
| 50点～59点 | 274 | 458 | 685 | | |
| 60点～69点 | 399 | 1,015 | 833 | A 656 | |
| 70点～79点 | 445 | 1,040 | 574 | | |
| 80点～89点 | 254 | 869 | 198 | | |
| 90点～100点 | 48 | 64 | 15 | | |
| 計 | 1,629 | 3,907 | 2,942 | 1,609 | 656 |
| 対前試験比率 | | 239.8% | 75.3% | 54.7% | 40.8% |
| 午前Ⅰ免除者(概数) | 2,858 | 63.7% | | | |

| 合格者数 | 656 | 採点者数の割合 | 合格者数との差 |
|------------|-------|---------|---------|
| 午前Ⅰ60点以上合計 | 1,146 | 70.3% | 490 |
| 午前Ⅱ60点以上合計 | 2,988 | 76.5% | 2,332 |
| 午後Ⅰ60点以上合計 | 1,620 | 55.1% | 964 |
| 午後Ⅱ-A評価 | 656 | 40.8% | 0 |



新試験制度では午前I試験の免除制度ができましたが、得点分布のデータを分析してみると、今回午前I試験の免除者は概算で2,858人(63.7%)おり、受験者の6割以上の方が午前IIからの受験となりました。

次に高度系共通の午前I試験で基準点(60点)以上の方は1,146人(受験者の70.3%)で、前回の72.3%より少し下がっています。今回は少し難しい問題が多かったといえますが、結果に大きくは影響ありませんでした。

午前II試験で基準点以上の方は2,988人(受験者の76.5%)でかなり高い率ですが、前回の83.1%と比べれば低い結果になっています。

午後I試験で基準点(60点)以上取れた方は55.1%で、前回試験の57.4%と比べて少し下がっています。

最後に午後IIの論述式試験で合格点(A評価)を取ることができた方は採点対象者の40.8%で、こちらは前回試験37.3%より少し上がっています。

(今回合格された人)

今回見事合格された方で、16 春期試験で情報セキュリティスペシャリスト・データベーススペシャリスト・エンベデッドシステムスペシャリスト・プロジェクトマネージャ・システム監査技術者の試験合格を目指す方は、午前の試験が午前Ⅰの共通知識と午前Ⅱの専門知識に分れます。午前Ⅰ試験は免除になりますので、午前Ⅱの専門分野知識について、なるべく早く試験対策を開始してください。まずは該当分野の応用情報技術者試験の問題を解いてみましょう。

高度系種別を受験するにあたっては、出題範囲を網羅した通信教育の『午前Ⅰ免除コース』がおすすめです。基礎から段階的に知識の積み上げを行いたい方には「書籍」「WEB 教材」「WEB テスト」「公開模試」の合格のために必要な知識を体系立てて身に付けることが可能なコース学習『試験対策コース』がおすすめです。

その他、学習にあたっては、午前試験対策に重点をおいた『宿題メール』。午後試験対策には、受験対策のプロ講師から直接学べる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』など、学習アイテムを豊富に取り揃えております。午前Ⅰが免除になり、かつこれまでの学習で身に着けた知識が鮮明なうちに次の資格試験にチャレンジすることが、合格への近道です。次のステップアップを目指しましょう。

(今回残念ながら不合格だった人)

まず、自分がよく理解していない内容について早めの学習が必要です。苦手な分野は、アイテック刊行の新試験用のレベル 3 のテキスト教材などを活用し、じっくり学習してください。今回の午前試験の得点が 50 点～59 点の人は、合格までほんとうに"あと一步"のところまで実力が付いていますので、学習した知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習から始めましょう。

また、午後試験の得点が 60 点に満たなかった人は、確実に得点するために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。選択範囲が広がったことで解答しやすい問題を選ぶことができますので、チャンスが広がると考えて、早めに対策を始めましょう。

なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたうえで問題を解く訓練を行うのが有効です。

再受験のための学習にあたっては、弱点補強中心に学習を行いたい方やすでに教材をお持ちの方はトレーニング問題とポイント解説、午後の音声講義によるポイント解説などの充実したコンテンツの『演習コース』、講師から直接指導を受けることでその場で自身の弱点分野を把握、克服ができる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』がおすすめです。

その他、各種豊富な学習メニューを用意しております。

2016 年春期試験対策の新しい書籍については弊社のホームページからご覧ください。

(<http://www.itec.co.jp>)

■現在刊行済みの2016年用 試験対策書籍

- ・試験対策のプロが選び抜いた「良く出る問題」を多数収録!!
- ・出題傾向を分析、定番問題と頻出問題を掲載、予想問題集が装いを新たに登場!! **好評発売中!!**



- ・午後試験対策おすすめ書籍 **好評発売中!!**



- ・問題演習おすすめ書籍 **好評発売中!!**



- ・論文対策おすすめ書籍 第4版に改訂!! **好評発売中!!**



■今後の刊行予定書籍

- ・「2016春 徹底解説 情報セキュリティスペシャリスト 本試験問題」 **2016/1/末 発売予定**

•
•
•
iTEC